

# 教育関連ビジネスを展開するシニア起業家の空間行動

最終更新日：2016年5月15日

【プロジェクト代表者】  
社会科教育講座  
教授  
石丸 哲史

## キーワード

・アクティブシニア ・アントレプレナーシップ

## プロジェクトの内容（目的・方法・結果と意義）

地方圏における内発的地域振興の有効な手段とされている起業・創業について、シニアがアントレプレナーとしての役割を演じることができれば、雇用機会の創出や自立的成長への可能性が大きくなります。とりわけ域外に人口が流出し高齢化が進行している地方圏では、高齢者の経済的不安をどう払拭していくか、どう支援していくかが課題であり、シニア世代にも起業・創業という選択肢が検討されなければならない時期を迎えています。

一方、ローカルレベルにおいて社会教育を含む広義の生涯教育機会の充実が重要視されていますが、シニア起業家もこの機会創出に大きく関与してきているものと思われます。そこで、教育関連産業におけるシニア労働市場の分析を行い、シニア起業家の動向を調査・分析し、シニア世代が抱える起業・創業あるいはビジネス支援環境の課題を明らかにしました。

## 成果の応用可能性（私たちの活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。）

たとえば、2016年2月19日に開催された「むなかた大学のまちゼミナール公開講座」では、「世界遺産を、世界遺産で、学ぶ意味と意義」というテーマで講演しましたが、世界遺産を活かしたまちづくりの上でローカルアントレプレナーの重要性と必要性を強調しました。

そこで、

- ・地理情報システムによるエリアマーケティング
- ・地域資源開発
- ・ローカルアントレプレナーシップのあり方

などに成果を活用することができます。

## このプロジェクトの形成に寄与した制度等

## プロジェクト構成員（所属・職名・氏名・役割分担）